

高付加価値型企業を誘致



工業団地の建設予定地

マレーシアの最新投資事情

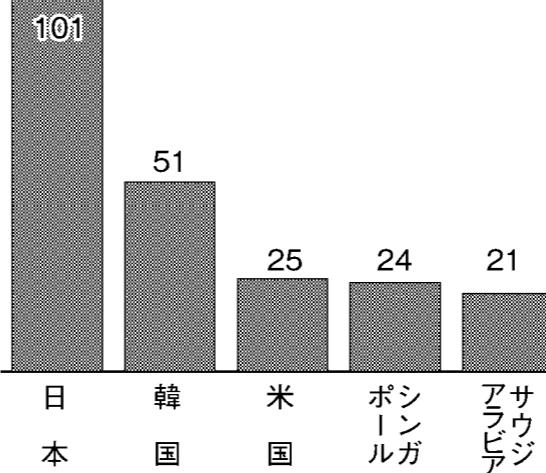
日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部アジア大洋洲課の塚田学氏はマレーシアの投資環境について「課題が少ないことが特徴」と断言する。首都クアラルンプールから地方の主要都市へは立派な高速道路が張り巡られ、トラックでの製品輸送は容易に行える。電力供給は安定しており、停電や瞬停もほとんどない。利子や配当、ロイヤルティーなどの海外への送金も自由に行える。

使いやすい制度に評価

特に「税制面などの優遇制度が簡潔で使いやすい」と塚田氏は太鼓判を押す。マレーシアにはない特徴的な技術を持つ企業に適応される「バイオニア・ス

マレーシアは東南アジア諸国連合(ASEAN)の中でも優等生と呼ばれるほど物流インフラなどの投資環境が整う。会社設立の容易さなどビジネス環境の良さをランク付けした世界銀行の調査(「ドーハイング・ビジネス2013」)ではマレーシアが12位と位に付けた。投資誘致の窓口であるマレーシア投資開発庁(MIDA)が使い勝手のよいまぎまな優遇制度を用意し、企業対応していることが評価されている。ナジ夫首相の「新ルック・ストラテジー」により、MIDAは一段と魅力的な投資環境を整える意向だ。

対マレーシア外国直接投資(2011年、単位:億リンギット)



省・新エネ・先端技術に照準 税制など優遇制度拡充へ

マレーシアは10年でスクエアが78%と世界最大を誇る。2006年8月、マレーシアは国際的なイスラム金融センターを目指す「マレーシア・インターナショナル・イスラム・センター(MIFC)」を開設した。イスラム金融市場への開放や高等教育機関の設立などを加え、税制面での優遇制度を導入した。例えばスクークの起債に伴う経費への課税を控除した。三井物産戦略研究所によるとマレーシアは80年代に市場環境が整備されたという。これに税制面の優遇措置が講じられた。イスラム金融が通常の金融に対し十分に競争力を持つようになり、通常の金融商品と比べて若干有利な条件でイスラム金融商品が提供される環境が整い、ムスリム金融とはイスラム教で禁止されている賭博やボルノ、酒などに連絡した事業へは投資せず、利子は「スケーク」と呼ばれ、

ムスリム金融とはイスラム教の戒律に基づいて処理された「ハラル産業」の育成に力を入れている。

マレーシアは80年代に初めてイスラム金融の基礎法の整備に着手し、イスラム金融が通常の金融に対し十分に競争力を持つようになり、通常の金融商品と比べて若干有利な条件でイスラム金融商品が提供される環境が整い、ムスリム

データス」を取得できれば、生産開始日から5年間、法定所得の70%が免税される。こうした制度は他のASEAN諸国にも導入されているが、「ほとんど適応されない国もある」と塚田氏。こうした中、マレーシアはMIDAが透明で企業フレンドリーな対応を行っており、外国投資家から評価されている。

マレーシアはMIDAが透明で企業フレンドリーな対応を行っており、外国投資家から評価されている。

マレーシアはMIDAが透明で企業フレンドリーな対応を行っており、外国投資家から評価されている。

物流インフラ ASEANの優等生

マレーシア特集

競争力ある市場環境整備 「ハラル産業」で認証制度

イスラム金融 深く浸透

ムスリム金融は、中東など他の企業のオペレーションにも、イスラム金融が深く浸透しつつある」と指摘す

ムスリム金融は、中東など他の企業のオペレーションにも、イスラム金融が深く浸透しつつある」と指摘す